

第2節 新世紀の教育に対応した安全で気持ちよく学べる学習空間

子どもたちが社会の変化に柔軟に対応し適応できる資質・能力を身に付けることができるようにするためには、個々の学習ニーズに応じた学びの場を用意することが必要です。

このため、各教室において授業でインターネットを利活用できるような環境を整備するなど、子どもたちの学習の場や生活の場の整備を図るとともに、耐震性が確保され、犯罪などに対してより安全な地域社会との連携にも考慮した学校施設づくりを進めます。また、少人数授業など学びのかたちの変化に対応するため、普通教室、特別教室に続く第3の学習スペースとして、少人数学級やグループ別学習に柔軟に対応でき、新しい情報通信ネットワーク技術に対応する新世代型学習空間の整備に努めます。さらに、学校と社会教育施設・福祉施設等の様々な地域施設との複合化を含めて、地域社会との連携を考慮した施設づくりについての検討を促進します。

(2) 新世紀の教育に対応した安全で気持ちよく学べる学習空間

市町村立学校の施設・設備の整備促進
 県立学校の施設・設備の整備・充実
 学校施設のユニバーサルデザイン化推進
 社会の変化に対応した学校づくり

項 目	具体的施策の方向
市町村立学校の施設・設備の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学校施設・設備の整備と開放の促進 学校施設・設備の開放を進め、地域社会のニーズにあった活用を図るとともに、多目的スペースや児童生徒がゆとりをもって学習活動に取り組むことができる学習空間を整備する等、小・中学校の施設・設備の改善や、耐震性が確保されていない施設の耐震改修を促進します。 ▶ 学校体育施設・設備の整備促進 児童生徒が楽しく安全に体育・スポーツに親しめる環境づくりのために、学校体育施設・設備の整備を促進します。
県立学校の施設・設備の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 高等学校の施設・設備の整備・充実 快適な学習、生活空間を充実させるため校舎の大規模改造・改修や体育施設・設備の整備を推進するとともに、新しい時代に対応した専門教育の充実を図るため産業教育施設の整備・充実や、耐震性が確保されていない施設の耐震改修を推進します。 ▶ 先端技術等に対応できる施設・設備の充実 技術革新の進展に対応した先端技術の導入を図るなど、県立学校の施設・設備を充実し、教育環境の整備・充実に推進します。 ▶ 盲・聾・養護学校の施設・設備の整備・充実 児童生徒の個々の教育的ニーズに応じた学びの場を提供するため、施設のユニバーサルデザイン化を含めた盲・聾・養護学校の施設・設備の整備・充実に推進します。
学校施設のユニバーサルデザイン化推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市町村立学校における障がい児等に対応した施設・設備の充実 ユニバーサルデザインの理念に基づき、障がいのある児童生徒の学習機会の拡充や多様な学校生活を確保する視点から施設・設備の改善を促進します。

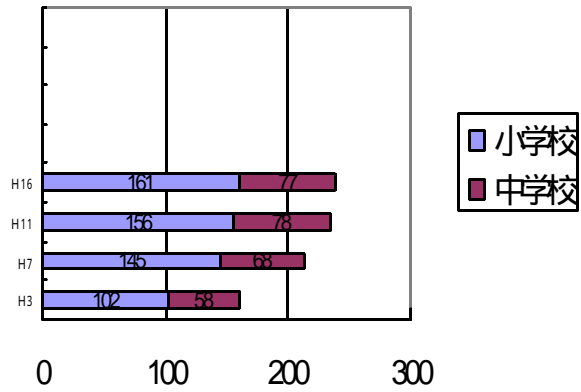
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 県立高等学校における障がいのある生徒等に対応した施設・設備の充実 ユニバーサルデザインの理念に基づき、障がいのある生徒の学習機会の拡充や多様な学校生活を確保する視点から施設・設備の整備・充実に努めます。
<p>社会の変化に対応した学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 情報ネットワークの構築と活用推進(再掲) 地域情報通信ネットワークの構築とその活用の推進が可能となるよう、各学校及び教育センター等の関係機関の情報環境の整備・充実に努めます。 ▶ 情報教育指導者の養成(再掲) 学校における情報教育の効率的な実施を図るため、情報教育に関する教員の研修の充実に努めるなど、情報教育に携わる指導者の育成を推進します。 ▶ グループ別学習等に対応する新世代型学習空間の整備 グループ別学習や少人数学習の柔軟な学習展開に対応できる機能的な教室経営やコンピュータ、インターネット活用などに応える新世代型学習空間の整備に努めます。 ▶ 環境を考慮した学校施設(エコスクール)の整備推進 児童生徒などの環境教育に役立てるとともに、環境への負荷の低減を図る視点からの学校施設づくりを推進します。 ▶ 地域社会との連携を考慮した施設づくり 学校と図書館・公民館等の社会教育施設や福祉施設等の様々な地域施設との複合化を含めて、地域社会との連携を考慮したユニバーサルデザインの施設づくりについての検討を促進します。

〔語注〕 (第2節 新世紀の教育に対応した安全で気持ちよく学べる学習空間)

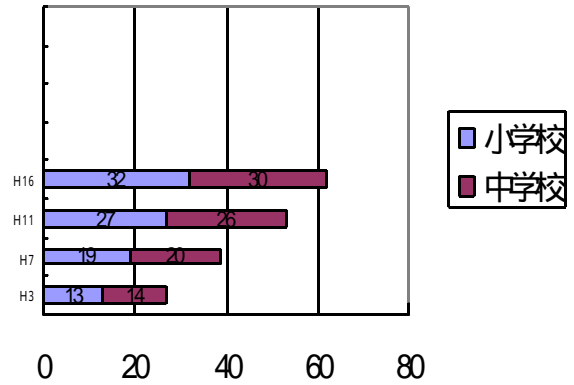
<p>ユニバーサルデザイン (Universal Design)</p>	<p>バリアフリーは、ノーマライゼーションの理念に基づき、身体的・精神的な障壁(バリア)を取り除こうという考え方で、最近では、高齢者・障がいのある人を含むすべての人に利用可能なように、製品・建物・空間等をデザインするというユニバーサルデザインという考え方に置き換えられようとしている。</p> <p>前者が、対象を障がいのある人に特定化したり、対応方法を特別化しているのに対し、後者はそれを乗り越えようとするものである。</p>
--	--

多目的スペース等特色ある施設の整備状況

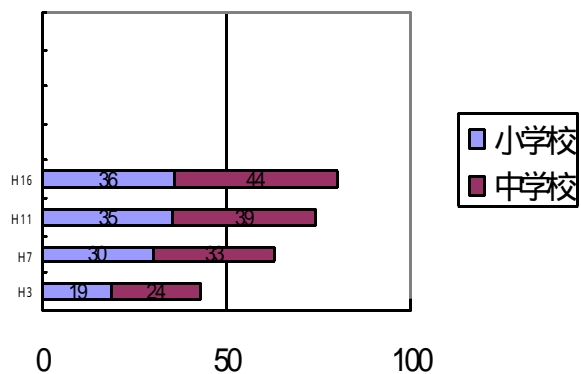
多目的スペース



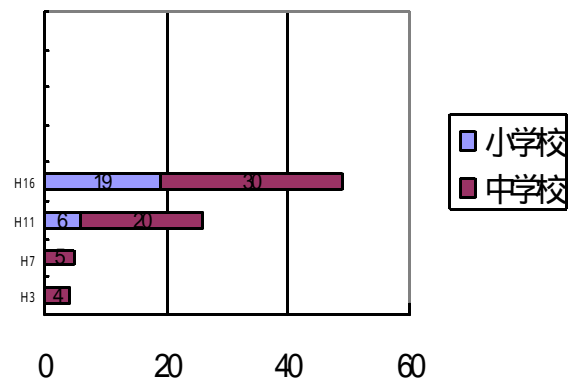
屋外教育環境



地域・学校連携施設



木の研修交流施設



* 地域・学校連携促進型・・・教職員、地域住民等の連携協力のために必要な会議室（学校評議員室等）、ボランティア等控え室、多目的活動ホール等の整備

* 体育施設開放促進型 屋内運動場に会議室や更衣室等を持つ施設を整備

* 児童生徒地域交流施設（他校・地域住民との交流推進のため、宿泊室、研修室、多目的ホール等を備えた施設を整備）

* 木のふれあいの場（余裕教室等を改造、和室、プレイルーム、心の教室カウンセリング室、教育相談室等、読書スペースやアスレチックコース、炊さん場等を整備）